

# 令和元年度 決算報告書

(単位：円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,043,212,000	1,063,581,000	20,369,000	(注1)
自己収入	622,592,000	618,049,636	△ 4,542,364	
授業料等収入	575,713,000	570,790,125	△ 4,922,875	(注2)
雑収入	46,879,000	47,259,511	380,511	
受託研究等収入	34,253,000	16,486,476	△ 17,766,524	(注3)
補助金収入	300,000	431,377	131,377	
助成金事業費収入	0	0	0	
目的積立金取崩収入等	66,822,000	57,988,600	△ 8,833,400	(注4)
計	1,767,179,000	1,756,537,089	△ 10,641,911	
支出				
業務費	1,275,839,000	1,236,010,614	△ 39,828,386	
教育研究経費	378,790,000	378,135,171	△ 654,829	
人件費	897,049,000	857,875,443	△ 39,173,557	(注5)
一般管理費	456,787,000	455,808,107	△ 978,893	
受託研究等経費	34,253,000	19,529,353	△ 14,723,647	(注6)
補助金事業費	300,000	431,377	131,377	
助成金事業費	0	0	0	
計	1,767,179,000	1,711,779,451	△ 55,399,549	

## ○予算と決算の差額について

(注1) 運営費交付金の差額の主な要因は、法人固有職員退職手当が8,922千円増となったこと及び東日本大震災被災学生に対する授業料等の減免事業費計上により6,768千円増となったこと並びに人事異動及び県人事委員会勧告等に係る教職員人件費が4,679千円増となったことによります。

(注2) 授業料等収入の差額の主な要因は、授業料収入の実績額が予算額に対して12,564千円減となったこと、入学検定料収入・入学料収入の実績額が予算額に対してそれぞれ3,200千円、877千円の増となったこと及び看護管理者教育課程受講料3,564千円を授業料収入に組替えたこと等によります。

(注3) 受託研究等収入の差額の主な要因は、受託研究等収入が予算額に対して3,154千円減となったこと、看護管理者教育課程受講料収入及び講習料収入3,813千円、社会福祉研修事業受講料2,235千円並びに就職合同説明会収入1,134千円を自己収入に組替えたこと、寄附金収入が予算額に対して6,974千円減となったこと等によります。

(注4) 目的積立金取崩収入等の差額の主な要因は、講堂特定天井改修工事29,066千円の支出等の見合いで取崩しを行ったことによります。

(注5) 人件費の差額の主な要因は、教員退職手当が13,053千円増となった一方で、教員人件費の実績額が予算額に対して50,109千円減となったこと、非常勤講師人件費の実績額が予算額に対して2,118千円減となったこと等によります。

(注6) 受託研究等経費の差額の主な要因は、受託研究等事業費の実績額が予算額に対して3,714千円、寄附金事業費の実績額が予算額に対して6,042千円減となったこと、看護管理者研修事業費3,315千円を教育研究経費に組替えたこと及び就職合同説明会経費1,653千円を一般管理費に組替えたこと等によります。